

学習の指針（シラバス）

教科名	音楽科	実施学年	1年	週時数	1. 3時間
-----	-----	------	----	-----	--------

1 学習の目標

- ・曲想と音楽の構造などとの関わり及び、音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けることができる。
- ・音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。
- ・主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにする事ができる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4 5	新しい仲間とともに、思いをこめて合唱しよう 「校歌」 「リズム」 「We' ll Find The Way」 イメージと音楽とのかかわりを感じ取ろう	・仲間と歌う喜びを分かち合い、音楽学習への意欲・態度を育てる。 ・楽譜の中にある基本的な音符や記号を知り、リズム創作し表現に生かす。	7	自己評価カード (毎時間) 歌唱プリント 歌唱テスト 創作プリント 鑑賞プリント
	6	「映画ジョーズからジョーズのテーマ」 音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべよう 「春 第1楽章」	・イメージと音楽とのかかわりを感じ取って、そのよさや美しさを味わいながら聴き、曲に対する自分なりの考えを言葉で説明するなどする。 ・音楽の特徴を、曲想と構造、背景と関連付けて、音楽のよさや美しさを味わったり情景を想像しながら聴き、自分なりに考えながら言葉で説明するなどする。	3	鑑賞プリント
	7	曲の構想を感じ取って、表現を工夫しよう 「主人は冷たい土の中に」	・ソネットという散文詩に沿って、作曲されている曲のイメージを味わう。 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした表現を工夫して歌う。	4	3 歌唱プリント
第2学期	9 10	パートの役割や旋律の重なり方を感じ取って、表現を工夫しよう 合唱コンクール学級自由曲 リズムアンサンブル	・旋律の重なり合いやパートの役割を感じ取って全体の響きを楽しみながら合唱する。 ・作品のイメージをふくらませながら表現を工夫して、クラスの力で合唱曲を仕上げる。 ・さまざまな合唱を聴き合って、表現を高め合う。	10	歌唱プリント 歌唱テスト
	11	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう 「魔王」	・詩の内容にそって旋律や調性の変化から生み出される効果を感じ取って聴く。 ・歌手による声や表現の違いを感じ取り、歌曲のよさや美しさを味わって聴き、言葉で説明するなどする。	3	鑑賞プリント
	11	日本の歌のよさや美しさを	・歌曲のよさや美しさを味わって聴き、言葉で説明するなどする。		
	12	感じ取って、表現を工夫しよう 「赤とんぼ」	・音譜表の読み方を覚え、パートの役割や旋律の重なり方を感じ取りながら表現を工夫して合唱する。	2	歌唱プリント

		イメージと音楽との関わりを感じ取り、構成を工夫して音楽をつくろう 「Let' s Create!」	歌曲のよさや美しさを味わって聴き、言葉で説明するなどする。 ・表現したい具体的なイメージをもち、音楽素材の特徴を感じ取り、反復、変化、対照などの構成を工夫しながら音楽をつくる。	3	創作プリント
第3学期	1	日本に古くから伝わる合奏に親しみ、その魅力を味わおう 雅楽「平調 越天楽」	・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりを理解するとともに、曲に対する評価と根拠、音楽の多様性を自分なりに考え、雅楽のよさや美しさを味わって聴く。	3	鑑賞プリント
	2	箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう 箏曲「六段の調」	・箏曲の特徴と背景とのかかわりを理解するとともに、音楽の多様性を自分なりに考え、そのよさや美しさ、箏の音色を味わいながら聴く。	2	鑑賞プリント
	2 3	仲間とともに表情豊かに合唱しよう 3年生を送る会学年合唱曲 卒業式送別の歌「南風」	・「3年生を送る会」「卒業式」に向けて、さまざまな合唱曲に取り組み、表現力と合唱を愛好する心情を育てる。 ・卒業生への感謝と尊敬の思いを込めて、1年間のまとめとして歌う。	2 3	観察評価 歌唱プリント 歌唱テスト
		箏の体験	・箏の基礎的な奏法を知り、弾いて音色の変化を味わう。		

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	・曲想と音楽の構造などとの関わり、また音楽の多様性について理解しているか。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表しているか。	☆観察評価 パート練習・全体練習 ☆授業プリント ・歌唱・創作テスト
思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	☆観察評価 パート練習・全体練習 ☆授業プリント ・歌唱・創作テスト
主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	☆観察評価 パート練習・全体練習 ☆授業プリント ・歌唱・創作テスト ☆自己評価カード

☆印の項目は、授業を欠席した場合、評価に含めることができない場合があります。

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・楽譜が配られたら、自分のパートの部分に、ラインマーカーで印をつけておきましょう。
- ・楽譜に書かれている音楽記号に○をつけましょう。
(ppp pp p mp は青○で囲む。mf f ff fff は赤○で囲む。)
- ・新曲に取り組む際は、音取り係はパート練習で困らないように、担当しているパートの音取りをしておきましょう。
- ・学期に1回、歌唱テストを行います。人前で、一人でも、堂々と歌えるように練習をしておきましょう。
- ・鑑賞プリント等の提出物は、必ず提出しましょう。定期テストを実施しないため、授業プリントがとても大切です。

5 教材等について

- ・教科書：中学生の音楽1、中学生の器楽（教育芸術社）
- ・副教材：コーラスフェスティバル（正進社）
- ・その他：授業プリントファイル、楽譜ファイル

※音楽の学習道具は、学校に置いてよいものです。